

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費						
事業名					地域教育文化振興事業費	単位：円					
事業内容	1 学校・PTA・地域が連携し、地域で家庭教育等を推進するための組織「地域教育協議会」の事業を支援するため補助金を支出する。			計	家庭教育ゼミナール開催	12回					
	2 家庭教育を推進するための講演会への支援を行う。				家庭教育ゼミナール参加者	950人					
成果	1 地域教育協議会に補助金を支出し、伝統文化継承や世代間交流、読書活動推進等、地域の特性を活かした地域教育活動を支援した。			実績	地域教育協議会	11団体					
	2 「家庭教育ゼミナール」を市内13会場で開催し、841人が受講。子育てや読み聞かせ、防災、健康等に関する学習機会を提供し、保護者等の家庭教育力の向上を図った。				家庭教育ゼミナール開催	13回					
予	算	額	決	算	額	財 源 内 訳					
						国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源		
817,000		720,944		220,000		0		0		500,944	

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費						
事業名					私立幼稚園就園奨励事業費	単位：円					
事業内容	私立幼稚園に就園する園児の保護者の所得状況に応じ、幼稚園設置者が保育料等を減免した場合に国から3分の1以内の補助を受けて就園奨励する。			計	補助金対象園児数	84人					
	私立幼稚園（2園）の園児81人のうち66人が対象となり、入園料及び幼稚園保育料を対象とした助成を行ったことにより、保護者の経済的負担を軽減した。				実績	補助金対象園児数	66人				
予	算	額	決	算	額	財 源 内 訳					
						国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源		
8,731,000		8,065,200		2,306,000		0		0		5,759,200	

10款 教育費		01項 教育総務費		02目 事務局費	
事業名 外国人講師招へい事業費					単位：円
事業内容	小学校の外国語活動、中学校の英語教育及び小中学校の国際理解教育の推進を図るため、専門業者から外国語指導助手の派遣を受ける。			計 画 値	派遣学校数 14校
					派遣回数 200回
成果	外国語指導助手の生きた英語に触れることで、言語や文化について体験的に理解を深めるとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、コミュニケーション能力の素地及び基礎を養うことができた。			実 績 値	派遣学校数 14校
					派遣回数 281回
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5,040,000	4,725,000	0	0	0	4,725,000

10款 教育費		01項 教育総務費		02目 事務局費	
事業名 特色ある学校づくり事業費					単位：円
事業内容	市内小・中学校が、それぞれ企画・立案した事業計画をもとに、地域の歴史・文化・伝統・特徴を生かして、農業体験、伝統芸能の継承など地域理解学習に取り組む。			計 画 値	実施学校数 14校
成果	平成25年度も市内全ての小・中学校が事業に取り組み、各校の教育目標や地域の特色に応じて歴史、文化、自然等を学ぶ活動が積極的に展開された。講師を務める地域住民をとおして、遠野に伝わる伝統や文化に触れることで児童・生徒のふるさとへの愛着と誇りをもつ心が着実に育まれている。			実 績 値	実施学校数 14校
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳			
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
1,400,000	1,199,535	0	0	0	1,199,535

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費	
事業名					平成・南部藩寺子屋交流事業費	単位：円
事業内容	根城南部氏の縁でつながりのある青森県八戸市と同七戸町の児童と、それぞれ市町を相互訪問し、交流を図る。日常生活と異なる集団活動の中で郷土の歴史や自然に親しみ、集団活動のあり方や公衆道徳等の体験を積む。			計画値	参加児童	26人
	成果	各小学校を代表する児童が遠野市の代表として活動することで、リーダーとしてあるべき行動を学ぶことができた。 また、ふるさを改めて見つめる機会を持ち、ふるさとの素晴らしさ、地域のつながりやきずなに気付くことで、遠野の将来を担う児童の育成につなげることができた。 ・受入交流 7月29日から7月31日まで 八戸市児童45人及び七戸町児童21人が来遠。 ・派遣交流 8月2日から8月4日まで 遠野市児童24人が八戸市及び七戸町を訪問。			実績値	参加児童
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
891,000	871,500	0	0	0	871,500	

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費	
事業名					特別支援教育推進事業費	単位：円
事業内容	通常学級に在籍し個別に特別な支援を必要とする児童・生徒の学校生活上の支援を行うため、担任教諭の補助等を行う特別支援教育支援員14人を配置する。 ことばの教室が開設されている遠野小学校及び遠野北小学校以外の小学校に在籍する言語等の個別指導が必要な児童に対して、学習指導講師が巡回指導を実施する。			計画値	特別支援教育支援員の配置	14人
	成果	特別支援教育支援員が児童・生徒の学習や生活面において適切な指導と必要な支援を行うことで、知・徳・体のバランスのとれた児童・生徒を育成するとともに、特別支援教育の充実を図ることができた。 ・配置校数 小学校7校 中学校2校  学習指導講師が巡回指導を行うことで、児童のニーズに応じた適切な指導を提供することができた。 ・巡回指導実施数 5校 11人			実績値	特別支援教育支援員の配置
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
15,295,000	15,171,617	0	0	0	15,171,617	

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費	
事業名					遠野わらすっこ「夢の教室」事業費	単位：円
事業内容	平成21年9月1日に当市と日本サッカー協会との間で締結した協定書により実施している事業。 心身の健全な発達に向けて、公益財団法人 日本サッカー協会（JFA）が取り組んでいるところのプロジェクト「夢の教室」を活用し、現役のスポーツ選手やそのOB、OG等が「夢先生」として、フェアプレー精神や助け合いの重要性を児童に伝えるとともに、夢を持つことの素晴らしさ、夢に向かって努力することの大切さを語り合う授業を行う。			計画値	実施小学校	11校
					実施回数	13回
成果	大相撲 貴乃花親方に代表される「夢先生」らによる、フェアプレー精神や助け合いの重要性を児童に伝えるとともに、夢を持つことの素晴らしさ、夢に向かって努力することの大切さを語り合う授業を行った。 各校からは、「授業後、児童の様子が良い方に変わった。今後も事業の継続を希望する」等の評価を得た。			実績値	実施小学校	11校
					実施回数	13回
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
1,630,000	1,506,480	0	0	0	1,506,480	

10款	教育費	01項	教育総務費	02目	事務局費	
事業名					道徳教育総合支援事業費	単位：円
事業内容	道徳教育に関し実践的な研究を行う学校を道徳教育研究指定校として指定する。 学習指導要領に基づいた道徳教育の質の向上とその一層の充実を図るために、指定校が主体的に行う取り組みに対して支援を行い、その結果得られた道徳教育に関する成果等について各学校に還元する。			計画値	推進校	1校
成果	指定校として事業に取り組んだ小友小学校では、授業研究会や研修会を通して、効果的な発問や構造的な板書等について学び、実践に活かすことができた。 また、いわての復興教育の教育的価値の具現化を構想した指導計画を作成したことにより、体験活動や各教科などとの関連が密に図られた実践となった。 実践の成果は、パンフレットやホームページにより情報発信が行われ、各学校に普及・還元することができた。			実績値	指定校	1校
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
400,000	318,274	300,000	0	0	18,274	

10款	教育費	01項	教育総務費	03目	教育研究所費	
事業名					教育研究所費	単位：円
事業内容	市内小・中学生(小2～小6、中1～中3)を対象にして、標準学力検査(NRT)及び知能検査(一部)を実施する。その結果をもとに各研究部会を開催し、課題に向けての調査や研究、発表を行い各学校へ還元する。 また、地域理解の推進と郷土を愛するところを育むため、地域の教材を活用した社会科副読本を作成する。(小学生用は印刷製本し配付。中学生用はWeb版と教育課程との関連表を作成)			計	標準学力検査(NRT)及び知能検査 1回 教育研究発表会 1回 環境・科学研究発表会 1回	
	成果	標準学力検査(NRT)及び知能検査を実施し、その検査結果を各中学校区及び各校で分析し、その後の授業改善に役立てることができた。 市全体での学力向上に係る取り組みについて、次の視点による新たな体制を構築した。 ・義務教育9年間を見取る。 ・中学校区ごとに小中が連携する。 1月に開催した教育研究発表会では、その成果を中学校区ごとに発表し合い、市内全教職員で学力向上に係る方向性を共有した。			実績	標準学力検査(NRT)及び知能検査 1回 教育研究発表会 1回 環境・科学研究発表会 1回
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
9,344,000	8,568,263	0	0	0	8,568,263	

10款	教育費	01項	教育総務費	03目	教育研究所費	
事業名					学力向上スタートダッシュ事業費	単位：円
事業内容	児童生徒の「学力向上」に係り、中長期的な視野のもと、事業を推進していくための基盤づくりのための先行事業として、市立学校教員が授業改善に係る先進地視察等を行うもの。			計画	先進地視察 1回	
	成果	児童生徒の「学力向上」に係り、中長期的に事業推進していくための基盤づくりのための事業として、各校で授業の研究及び改善等の中心となる教員が授業実践に係る先進地視察を実施した。 1回目 平成26年1月16日から1月18日まで(2泊3日) 横浜国立大学教育人間科学部附属横浜小学校 参加者 15名 2回目 平成26年2月21日から2月23日まで(2泊3日) 横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校 参加者 14名			実績	先進地視察 2回
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
400,000	383,490	0	0	0	383,490	

10款	教育費	01項	教育総務費	04目	育英事業費	
事業名					育英事業費	単位：円
事業内容	<p>遠野市奨学資金貸与条例（平成17年遠野市条例第88号）に基づき、向学心に燃える優秀な学生であって、経済的事由により修学困難なものに対して学資の貸与を行い、有能な人材を育成する。</p> <p>また、遠野市少子化対策・子育て支援総合計画「遠野わらすっこプラン」の子育て支援策として、平成20年度から大学生等の採用枠を23人から30人に拡大している。</p>			計画値	<p>新規奨学生採用数</p> <p>大学生等 30人</p> <p>高校生 5人</p> <p>継続奨学生等</p> <p>大学生等 53人</p>	
	成果	<p>新たに30人(大学の学部又はこれと同程度の学校に在学する者)を決定し、継続貸与者49人と合わせて79人に学資の貸与を行い、有能な人材の育成に努めた。</p> <p>貸付状況</p> <p>新規大学生等 30人 14,320,000円</p> <p>継続大学生等 49人 23,160,000円</p> <p>計 79人 37,480,000円</p>			実績値	<p>新規奨学生採用数</p> <p>大学生等 30人</p> <p>継続奨学生等</p> <p>大学生等 49人</p>
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
38,088,000	37,590,835	0	0	37,590,835	0	

10款	教育費	02項	小学校費	02目	教育振興費	
事業名					通学対策費	単位：円
事業内容	<p>遠距離から通学する児童のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実に図る。</p> <p>1 小友、附馬牛、土淵、宮守、達首部、鱒沢小学校に通学する児童の一部を対象に、スクールバス等の運行。</p> <p>2 遠野北小学校に通学する駒木地区の児童を対象に、路線バスの定期券を配付と、下校便の運行。</p> <p>3 青笹小学校に通学する中沢地区の児童の一部を対象にタクシーを運行。</p> <p>4 遠距離(4km以上)から通学する児童を対象に、通学費を助成。</p> <p>5 教育課程における児童移動のためのスクールバスの運行。</p>			計画値	<p>スクールバス等の運行</p> <p>バス 6台</p> <p>ワゴン 3台</p> <p>タクシー 1台</p> <p>路線バス 1台</p> <p>遠距離通学費補助金</p> <p>対象児童 40人</p>	
	成果	<p>遠距離から通学する児童のためスクールバス等を運行し、通学の負担の軽減を図った。</p> <p>また、スクールバス等の通学対策に該当しない遠距離児童に対しては通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。</p>			実績値	<p>スクールバス等の運行</p> <p>バス 6台</p> <p>ワゴン 3台</p> <p>タクシー 1台</p> <p>路線バス 1台</p> <p>遠距離通学費補助金</p> <p>対象児童 19人</p>
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
24,405,000	23,442,656	0	0	0	23,442,656	

10款	教育費	02項	小学校費	02目	教育振興費	
事業名					就学援助費（小学校）	単位：円
事業内容	<p>経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対して、学用品費、通学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、学校給食費、学校病医療費及び学校病医療通院費を支給し、義務教育の円滑な実施を図る。</p>			計画値	支給児童数	171人
	成果	<p>就学困難な児童の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。</p> <p>学用品費（149人） 1,574,350円      通学用品費（133人） 273,057円            新入学用品費（16人） 318,400円      校外活動費（149人） 299,378円            修学旅行費（32人） 664,430円      学校給食費（149人） 6,142,745円            学校病医療費（44人） 508,939円      学校病医療通院費（10人） 4,080円</p> <p>上記のうち被災児童15人分については、被災児童生徒就学援助事業費補助金により10/10（822,000円）が交付された。</p>			実績値	支給児童数
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
10,468,000	9,785,379	879,000	0	0	8,906,379	

10款	教育費	02項	小学校費	02目	教育振興費	
事業名					理科教育設備整備事業費（小学校）	単位：円
事業内容	<p>学習指導要領が改訂され、平成23年度から理科教育の授業時数や指導内容の増加、観察や実験の内容の充実が打ち出されたことに伴い、平成21年度から実験及び観察に必要な教材を整備し、小学校における理科教育の推進を図る。</p>			計画値	平成25年度整備 青笹小学校 上郷小学校 宮守小学校 達曽部小学校	
	成果	<p>青笹小学校、上郷小学校、宮守小学校及び達曽部小学校において、学習指導要領の改正に伴い新たに必要となった教材備品の整備及び老朽化した教材備品の更新を行い、理科教育設備の充実を図った。</p> <p>【主な整備教材】            青笹小学校 ... 小型百葉箱、振り子実験器 等            上郷小学校 ... 百葉箱、デジタル気体チェッカー 等            宮守小学校 ... 大型振り子実験器、実験用ガスコンロ 等            達曽部小学校 ... デジタル気体チェッカー、定温器 等</p>			実績値	教材備品整備品目数 青笹小学校 8品目 上郷小学校 8品目 宮守小学校 5品目 達曽部小学校 5品目
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,005,000	1,004,510	500,000	0	0	504,510	

10款	教育費	02項	小学校費	03目	学校建設費	
事業名					プール改修事業費	単位：円
事業内容	老朽化したプール設備を計画的に更新し、児童が安全かつ安心して水泳実習を受けることができる環境整備を図る。			計画値	鱒沢小学校 ろ過器更新工事 プール給水設備工事 プール鉄柵改修工事 水道加入負担金	
	・鱒沢小学校プールろ過器更新、給水設備工事					
成果	事業計画に基づき、鱒沢小学校プールろ過器の更新及び給水設備工事等を行い、教育環境の整備を図った。			実績値	鱒沢小学校 ろ過器更新工事 プール給水設備工事 プール鉄柵改修工事 水道加入負担金	
	ろ過器更新工事 7,567,350円 給水管他改修工事 2,908,500円 鉄柵改修工事 740,250円 水道加入負担金 500,000円					
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
12,009,000	11,716,100	0	10,600,000	0	1,116,100	

10款	教育費	02項	小学校費	03目	学校建設費	
事業名					遠野小学校屋内運動場改築整備事業費	単位：円
事業内容	新屋内運動場が平成26年3月に完成したことから、旧屋内運動場の解体等を実施し、教育環境の整備を図る。			計画値	旧屋内運動場解体工事 備品購入	
	旧屋内運動場解体工事が平成25年9月13日に完了し、昨年度の屋内運動場改築工事と併せ遠野小学校の教育環境の整備を図った。				旧屋内運動場解体工事 908㎡	
成果	旧屋内運動場解体工事 12,915,000円 舞台幕設置工事 外付帯工事 2,538,900円 備品購入等 3,809,850円			実績値	舞台幕設置工事 備品購入	
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
19,287,000	19,263,750	0	0	0	19,263,750	



10款	教育費	02項	小学校費	03目	学校建設費		
事業名		附馬牛小学校整備事業費				単位：円	
事業内容	平成25年3月に閉校した旧附馬牛中学校施設を小学校施設として活用するため、校舎の改修を図る。			計画値	実施設計業務		
	平成25年度 実施設計業務 平成26年度 校舎大規模改造工事、外構工事、工事監理業務、備品購入						
成果	教職員及びPTAとの協議を重ね、既存の建物を活用した校舎利用の実施設計を作成することができた。 なお、国の緊急経済対策に伴う国庫支出金の前倒しに伴い、平成26年度に予定していた事業(大規模改造工事、備品購入等)を3月補正予算で措置し、平成26年度に繰り越した。			実績値	実施設計業務		
予算額	決算額	財源内訳					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
146,805,000	9,450,000	0	0	0	9,450,000		

10款	教育費	02項	小学校費	03目	学校建設費		
事業名		綾織小学校改築整備事業費（繰越明許費）				単位：円	
事業内容	平成25年3月に閉校した旧綾織中学校の校舎の一部を小学校の特別教室棟に改修し、教育環境の整備を図る。 なお、旧綾織中学校施設の一体的な活用について、地域との協議により最終方針を決定する必要があったことから、実施設計期間を延長したため平成25年度に事業を繰り越したものの。			計画値	特別教室棟改修設計業務		
成果	既存校舎を活用し、児童の動線や施設管理が効率的に行えるような教室の配置や機器の設置など、学校の意見を取り入れた実施設計を作成し、改修工事を実施した。			実績値	特別教室棟改修設計業務		
予算額	決算額	財源内訳					
		国県支出金	地方債	その他	一般財源		
5,000,000	4,725,000	0	0	0	4,725,000		

10款	教育費	02項	小学校費	03目	学校建設費	
事業名					綾織小学校学びのプラットホーム整備事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	「学びのプラットホーム構想」に基づき、平成25年3月に閉校した旧綾織中学校校舎の大規模改造工事を行い、小学校の特別教室棟として活用する。 なお、平成24年度の国の緊急経済対策に伴う国庫支出金の前倒しに伴い、25年度事業を前倒して予算措置し、25年度に繰り越したもの。			計画値	大規模改造工事 工事監理業務 遊具購入	
	成果	実施設計に基づき、旧綾織中学校の普通教室等校舎の一部を、音楽室、理科室及び家庭科室並びにパソコン室等の特別教室に改修するとともに、校庭にはブランコやジャングルジム等の遊具を設置し、教育環境の一体的な整備に努めた。  特別教室棟改修工事 54,509,700円 うち建築工事 34,818,000円 うち機械工事 19,691,700円 工事監理業務 1,680,000円 備品購入 2,917,556円 他			実績値	大規模改造工事 835.68㎡ 工事監理業務 備品購入 遊具 5基 体育用具等
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
67,675,000	61,168,143	20,617,000	38,600,000	0	1,951,143	

10款	教育費	03項	中学校費	02目	教育振興費	
事業名					通学対策費（中学校）	単位：円
事業内容	遠距離から通学する生徒のため、必要な通学対策を講じ、教育環境の充実を図る。 1 遠野中学校、遠野東中学校及び遠野西中学校に通学する生徒の一部を対象に、スクールバス等の運行。 2 遠距離（6km以上）から通学する生徒を対象に、通学費を助成。 3 教育課程における生徒移動のためのスクールバスの運行。			計画値	スクールバス等の運行 遠野中学校 6台 遠野東中学校 6台 遠野西中学校 6台 遠距離通学費補助金 対象生徒 25人	
	成果	遠距離から通学する生徒のためスクールバス等を運行し、通学の負担の軽減を図った。 また、スクールバス等の通学対策に該当しない遠距離生徒に対しては通学費補助金を支給し、保護者の負担の軽減を図った。 なお、中学校再編成によりスクールバスの乗車範囲が広がったことから、遠距離通学費補助金対象生徒が減となった。			実績値	スクールバス等の運行 遠野中学校 6台 遠野東中学校 6台 遠野西中学校 6台 遠距離通学費補助金 対象生徒 5人
予算額		決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
49,249,000	47,242,854	0	0	0	47,242,854	

10款 教育費		03項 中学校費		02目 教育振興費		
事業名 就学援助費（中学校）					単位：円	
事業内容	経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対して、学用品費、通学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、通学費、学校給食費、学校病医療費及び学校病医療通院費を支給し、義務教育の円滑な実施を図る。			計画値	支給生徒数	111人
	成果	就学が困難な生徒の保護者に対して必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を図った。			実績値	支給生徒数
		学用品費（92人） 1,953,000円	通学用品費（68人） 143,220円			
		新入学用品費（24人） 549,600円	校外活動費（92人） 196,200円			
		修学旅行費（37人） 2,804,230円	学校給食費（92人） 4,491,185円			
		学校病医療費（18人） 284,705円	学校病医療通院費（1人） 540円			
		上記のうち被災生徒2人分については、被災児童生徒就学援助事業費補助金により10/10（174,000円）が交付された。				
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
11,139,000	10,422,680	328,000	0	0	10,094,680	

10款 教育費		03項 中学校費		02目 教育振興費		
事業名 理科教育設備整備事業費（中学校）					単位：円	
事業内容	学習指導要領が改訂され、平成24年度から理科教育の授業時数や指導内容の増加、観察や実験の内容の充実が打ち出されたことに伴い、平成21年度から実験及び観察に必要な教材を整備し、中学校における理科教育の推進を図る。			計画値	平成25年度整備 遠野中学校 遠野東中学校 遠野西中学校	
	成果	新設中学校3校において、学習指導要領の改訂に伴い新たに必要となった教材備品の整備及び老朽化した教材備品の更新を行い、理科教育の設備の充実を図った。			実績値	教材備品整備品目数 遠野中学校 4品目 遠野東中学校 4品目 遠野西中学校 7品目
		【主な整備教材】 遠野中学校 ... 力学的エネルギー実験器、生物顕微鏡 等 遠野東中学校 ... DVD資料教材、鉄製スタンド 等 遠野西中学校 ... 慣性実験器、冷陰式クルックス管 等				
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
1,008,000	1,007,820	500,000	0	0	507,820	

10款	教育費	03項	中学校費	03目	学校建設費	
事業名					遠野中学校改築整備事業費	単位：円
事業内容	老朽化した遠野中学校校舎の改築工事（第2期）に着手し、中学校再編成後における教育環境の整備及び生徒の安全の確保を図る。			計画値	校舎改築工事	
	<b>【事業の概要】</b> 第2期改築工事（平成25年12月から平成26年8月まで） 多目的教室棟 木造一部鉄筋コンクリート造平屋建、鉄骨造 998.04㎡  <b>【年度別計画】</b> 平成25年度 校舎改築、旧校舎解体、倉庫・駐輪場建築工事 平成26年度 校舎改築、旧校舎解体 平成27年度 屋内運動場改修、外構工事				旧校舎解体工事 倉庫・駐輪場建築工事	
成果	旧校舎を解体し、2ヵ年の継続事業として校舎改築（第2期）工事に着手し、基礎工事を進めた。（進捗率17%） また、倉庫・駐輪場建築工事を行い、教育環境の整備に努めた。 なお、国の緊急経済対策に伴う国庫支出金の前倒しに伴い、平成26年度分の校舎改築工事予算の一部を3月補正予算で措置し、平成26年度に繰り越した。			実績値	旧校舎解体 3,878㎡ 校舎改築工事 倉庫・駐輪場建築工事 鉄骨造 119.24㎡ 駐輪場(385台分) アスファルト舗装 110㎡ 天然芝舗装 973㎡ 植栽等	
	予算額	決算額	財源内訳			
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源
	349,833,000	110,699,800	21,506,000	75,900,000	0	13,293,800

10款	教育費	03項	中学校費	03目	学校建設費	
事業名					遠野東中学校整備事業費	単位：円
事業内容	倉庫・駐輪場建築及びスクールバス待機所周辺の外構工事を行い、教育環境の充実を図る。 また、新設されたソフトテニス部のテニスコートの整備を図る。			計画値	倉庫建築工事	
					外構工事	
成果	外構工事及びソフトテニスコートを整備し、教育環境の整備に努めた。 なお、倉庫・駐輪場建築工事は、再生可能エネルギー設備導入事業を活用し、太陽光パネルを屋根に積載するため仕様変更を行ったことにより入札発注時期が遅れたため、平成26年度に繰り越した。			実績値	ソフトテニスコート整備	
					外構工事 バス待機所アスファルト舗装 ソフトテニスコート整備	
予算額	決算額	財源内訳				
		国庫支出金	地方債	その他	一般財源	
	11,035,000	2,874,200	0	0	0	2,874,200

10款	教育費	03項	中学校費	03目	学校建設費	
事業名					遠野西中学校整備事業費	単位：円
事業内容	<p>中学校再編成後における教育環境の整備及び市内中学校施設の均一を図るため、教育環境の整備を図る。</p> <p>平成25年度 中庭整備 平成26年度 多目的教室大規模改造工事、ナイター照明設置工事 工事監理業務、備品購入 平成27年度 外構工事、屋外トイレ設置工事</p>			計画値	<p>耐震診断 実施設計業務委託 中庭整備</p>	
	成果	<p>校外学習及びクラブ活動等に活用するため中庭の一部をアスファルト舗装し、教育環境の整備に努めた。 また、旧宮守学校給食センターを多目的教室棟に改修するため耐震診断を実施し、実施設計業務を発注した。 なお、国の緊急経済対策に伴う国庫支出金の前倒しに伴い、平成26年度事業を3月補正予算で措置し、平成26年度に繰越した。</p>			実績値	<p>耐震診断 実施設計業務委託 中庭整備 アスファルト舗装 510㎡</p>
予算額		決算額	財源内訳			
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源
80,870,000	5,950,350	0	0	0	5,950,350	

10款	教育費	03項	中学校費	03目	学校建設費	
事業名					遠野中学校改築整備事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	<p>老朽化した遠野中学校校舎の建て替えを行い、中学校再編成後における教育環境の整備及び生徒の安全の確保を図る。 なお、平成24年度の国の緊急経済対策に伴う国庫支出金の前倒しに伴い、25年度に予定していた校舎改築(第2期)工事予算の一部を前倒して予算措置し、25年度に繰り越したもの。</p> <p>【事業の概要】 第2期改築工事（平成25年12月から平成26年8月まで） 多目的教室棟 木造一部鉄筋コンクリート造平屋建、鉄骨造 998.04㎡</p> <p>【年度別計画】 平成25年度 校舎改築、旧校舎解体、倉庫・駐輪場建築工事</p>			計画値	<p>旧校舎解体工事 校舎改築工事（第2期）</p>	
	成果	<p>旧校舎を解体し、2カ年の継続事業として校舎改築(第2期)工事に着手し基礎工事を進めた。（進捗率17%）</p>			実績値	<p>旧校舎解体工事 校舎改築工事（第2期）</p>
予算額		決算額	財源内訳			
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源
58,269,000	58,269,000	32,214,000	25,800,000	0	255,000	

10款	教育費	05項	社会教育費	01目	社会教育総務費															
事業名					生涯学習のまちづくり推進費	単位：円														
事業内容	1 各地区センターで開催する学習講座等開催経費。			計	1 地区センター主催学習講座 計45回															
	2 生涯学習のほか、国際交流事業等を民間活力を生かした振興を図るため業務を委託する。				2 業務委託の実施															
成果	1 各地区センターで手芸や料理等の手づくり講座やスポーツ教室など、市民のニーズ把握に努め、生涯学習講座を開催した。			実	1 地区センター主催学習講座 計50回															
	2 市民ニーズに応じた生涯学習の展開を図るため、遠野市教育文化振興財団に事業を委託した。 その結果、IT講座や郷土理解講座、国際理解講座、青少年活動サポート事業、国際交流事業など、多様な講座等を実施し、より多くの市民に生涯学習の機会を提供した。				2 業務委託の実施 委託先：(一財)遠野市教育文化振興財団															
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		19,013,000			17,882,531			0					0		187,900					17,694,631

10款	教育費	05項	社会教育費	01目	社会教育総務費															
事業名					都市交流推進事業費	単位：円														
事業内容	1 武蔵野市との相互訪問による児童交流を行うことにより、それぞれの地域性を活かした体験によるひとづくり・まちづくりを進める。			計	武蔵野児童交流受入 児童20人、引率4人															
	2 サレルノ姉妹都市交流により、市民交流や文化交流を実施することで多文化共生への理解や国際協力の啓蒙を図る。				サレルノ姉妹都市交流 サレルノ国際映画祭遠野賞贈呈															
成果	1 武蔵野市とは隔年で受入事業と派遣事業を相互に行っており、平成25年度は武蔵野市から児童11人、引率4人を受け入れ、2泊3日の日程で交流事業を実施した。柏木平での自然散策や遠野市児童と共に稲荷穴鍾乳洞探検、ふるさと村ウォークラリー、乗馬体験等を通して、遠野の魅力を感じ児童間の友情を深めることができた。			実	武蔵野児童交流 武蔵野市児童 11人 武蔵野市引率 4人 遠野市児童 22人															
	2 サレルノ国際映画祭に遠野賞(切り絵)を贈呈した。平成26年度に姉妹都市締結30周年を迎えるサレルノ市への市民訪問ツアー実行委員会の開催や市民向け「サレルノ講座」を実施し、市民等への事業の周知を図った。				サレルノ姉妹都市交流 サレルノ国際映画祭 遠野賞(切り絵)贈呈															
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
		425,000			414,152			0					0		0					414,152

10 款	教育費	05 項	社会教育費	01 目	社会教育総務費
事業名		芸術文化振興事業費			単位：円
事業内容	<p>1 演劇や演奏会等を行うなど、優れた芸術文化に触れる機会の充実に努める。</p> <p>2 芸術文化の高揚、活性化を図るため、芸術文化団体等への支援を行い、活動の発表の機会と場の提供に努める。</p> <p>3 郷土の優れた芸術文化を振興するため、遠野物語ファンタジーを開催し、潤いのある市民生活の創造に努める。</p> <p>4 遠野市民センターバレエスタジオ、遠野少年少女合唱隊の充実に図り、幼年層から芸術文化に親しむ場と機会を提供する。</p>			計 画 値	<p>市民センター自主事業の公演数 3回</p> <p>芸術文化協会加盟団体の自主事業数 13回</p> <p>市民協働の芸術文化事業の参加者数 1,940人</p> <p>市民協働の芸術文化事業の鑑賞者数 8,500人</p>
	<p>1 演劇や演奏会等を行うなど、優れた芸術文化に触れる機会の充実に努めた。</p> <p>(1)宝くじおしゃべり音楽館(8月4日(日)、鑑賞者640人)</p> <p>(2)松竹新喜劇公演 三婆 (9月5日(木)、鑑賞者654人)</p> <p>(3)TSUKEMEN LIVE 2013 (11月16日(土)、鑑賞者286人)</p> <p>2 芸術文化協会加盟15団体が自主事業として発表会を開催するなど、芸術文化の振興に寄与した。</p> <p>(1)第8回遠野市民芸術祭</p> <p>○10月19日 合同茶会 参加者 45人、鑑賞者 340人</p> <p>○11月2日、3日</p> <p>・舞台合同発表会 参加者414人、鑑賞者 855人 (31団体)</p> <p>・総合展示会、菊花展 参加者446人、鑑賞者1,392人 (22団体4個人)</p> <p>(2)芸術文化協会等主催事業</p> <p>○芸術文化協会加盟団体の自主事業数</p> <p>・大ホール5回 参加者380人、鑑賞者2,700人</p> <p>・中ホール2回 参加者 50人、鑑賞者 50人</p> <p>・みやもりホール5回 参加者130人、鑑賞者 680人</p> <p>・その他会場4回 参加者104人、鑑賞者 555人</p> <p>3 第39回市民の舞台遠野物語ファンタジー「河童のやんたろう」の開催 2月22日、23日の3回公演 参加者370人、鑑賞者1,800人</p> <p>4 遠野市民センターバレエスタジオ、遠野少年少女合唱隊の充実に図り、幼年層から芸術文化に親しむ場と機会を提供した。</p> <p>(1)遠野市民センターバレエスタジオ</p> <p>○毎週、金・土曜日の通常レッスン</p> <p>○第36回発表会 11月24日 参加者 98人、鑑賞者 454人</p> <p>(2)遠野少年少女合唱隊</p> <p>○毎週土曜日の通常レッスン</p> <p>○第23回発表会 12月15日 参加者 62人、鑑賞者 54人</p>				実 績 値
予算額	決算額	財源内訳			
17,964,000	16,693,817	国県支出金	地方債	その他	一般財源
		0	0	12,429,700	4,264,117

10款	教育費	05項	社会教育費	03目	文化政策費	
事業名					遠野「語り部」1000人プロジェクト事業費	単位：円
事業内容	遠野の豊かな文化を継承・発展させるため、多様なジャンルの「語り部」を遠野の大切な人的文化資源と位置づける。「昔話」「食」「郷土芸能」「歴史」「生業」の5ジャンルの「語り部」1000人を育成し、遠野のにぎわいのきっかけとして、交流人口の拡大に貢献する。			計画値	語り部認定者数 650人(累計)	
	成果	平成25年度の認定者数33人(昔話2人、子ども語り部21人、歴史6人、食2人、郷土芸能2人)となり、累計者数612人となった。周知活動が不足し計画値には届かなかったが、子ども語り部の認定が最多となるなど未来を担う子どもたちへの郷土教育につなげることができた。 また、中心市街地の空き店舗を利活用し、語り部スポットを2カ所開設して、語りを披露するなどして、中心市街地のにぎわいの創出につなげることができた。			実績値	語り部認定者数 612人(累計)
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
1,721,000	1,350,144	0	0	0	1,350,144	



10款	教育費	05項	社会教育費	03目	文化政策費					
事業名					遠野文化調査研究費	単位：円				
事業内容	<p>遠野の文化を多角的に解明するとともに、次代を担う「人づくり」と未来を見据えた「まちづくり」を推進するため、遠野の文化に関する調査・研究に努める。</p> <p>また、出版物の刊行やフォーラムなどを開催し、研究成果の公開や啓発を行う。</p>			計画	遠野文化フォーラムの参加者数	120人				
					遠野文化研究センター活動の参加者数	80人				
成果	<p>遠野の文化を解明し、広く発信するため次の事業などを実施し、多くの参加者に遠野の文化を発信することができた。</p> <p>1 遠野文化フォーラムの開催 開催日時：平成25年11月3日(日) 13:00~ 開催場所：あえりあ遠野交流ホール 内容：遠野文化奨励賞表彰、遠野遺産・遠野こだわりの「語り部」認定証交付、遠野遺産活用事例発表、講演「シュタイナウ市のグリム兄弟博物館の経緯と展望」、シンポジウム「昔話の語り部たち - 佐々木喜善とグリム兄弟」 11月2日(土)には前夜祭「佐々木喜善 - 朗読の夕べ」も開催 参加者：300人</p> <p>2 市民講座(遠野の先人たちについて学ぶ「土曜講座」、「遠野古事記」を読む「金曜夜の読書会」、語り部スクーリングなど) 開催数：25回 総参加者数：478人</p> <p>3 その他 土淵町の石碑調査を実施し、258基を確認したほか、同町山口集落の食について調査し、公開・発表を行った。また、同センターの出版物『遠野学』と『マヨヒガ』を出版した。</p>			実績	遠野文化フォーラムの参加者数	300人				
					遠野文化研究センター活動の参加者数	478人				
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳	
						国	県	支	出	
						金		債	地	
								所	の	
								他		
								一	般	
								財	源	
22,577,000			21,095,379			0		0	4,235,714	16,859,665

10款	教育費	05項	社会教育費	03目	文化政策費	
事業名					佐々木喜善没80年記念事業費	単位：円
事業内容	平成25年度は『遠野物語』の話者であり「日本のグリム」と呼ばれた佐々木喜善の没80年とグリム兄弟の兄ヤーコブの没150年の記念の年である。博物館で特別展を開催し、市内外への情報発信と中心市街地への交流人口拡大を図る。			計 画 値	特別展の開催	2回
					特別展図録の発行	1,000部
成果	佐々木喜善やグリム兄弟に関する特別展を計画通り開催し、市内外へ情報発信し、交流人口の拡大に貢献することができた。			実 績 値	ドイツグリム兄弟紹介パネル制作	12枚
	1 特別展「佐々木喜善と宮沢賢治」 開催時期：7月20日～10月6日 入館者数 7,271人 特別展図録『佐々木喜善と宮沢賢治』発行 1,000部				特別展開催	2回
2 特別展「佐々木喜善とグリム兄弟」 開催時期：11月1日～23日 入館者数 1,158人 佐々木喜善とグリム兄弟紹介パネル制作 12枚			特別展図録発行	1,000部	ドイツグリム兄弟紹介パネル制作	12枚
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 庫 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
4,414,000	4,003,130	1,606,000	0	0	2,397,130	

10款	教育費	05項	社会教育費	04目	図書館博物館費		
事業名					図書館費	単位：円	
事業内容	図書の貸出や図書館教室等の活動を通じて、読書普及活動と図書館の利用促進を図る。また、図書館資料の収集・保存に努めるとともに、館外奉仕活動と施設貸出の利用促進を図る。さらには、本の読み聞かせ活動を実施している自主活動グループへの支援と育成に努める。			計 画 値	図書館利用者	19,300人	
					市民への貸出	80,600冊	
成果	図書の貸出や図書館教室、館内での企画展の開催などの活動を通じて、子ども達が本に親しむ機会が増え、読書環境が整備された。図書館教室は、市内8校で実施し、昨年度よりも参加校が増加し、図書館の利用普及が図られた。特に平成25年度から施設貸出を新たに中学校にも実施したことにより、学校図書館への貸出冊数が増加し、中学生への読書推進が図られた。			実 績 値	移動図書館車貸出	10,300冊	
	一方、本の読み聞かせなど自主的に活動しているグループに、館内外活動への支援として、本を貸出し、活動の支援を行った。				学校図書館への貸出	13,400冊	
予 算 額			決 算 額			財 源 内 訳	
予 算 額		決 算 額		国 庫 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
20,394,000		19,992,800		0	0	29,049	19,963,751

10款	教育費	05項	社会教育費	04目	図書館博物館費	
事業名					博物館費	単位：円
事業内容	市民の学習ニーズの多様化に対応し、登録博物館として郷土の歴史・文化の調査研究、資料の収集と保存及び記録を進める。 また佐々木喜善没80年を記念した特別展や町家のひなまつりに合わせた企画展、博物館講座等を開催し、研究成果を広く市民に公開し発信する。			計 画 値	博物館入館者数 38,500人 博物館講座等の受講者数 880人	
	成果	佐々木喜善没80年に合わせた特別展や遠野町家のひなまつりの開催に合わせた企画展を開催。商工会と連携し、中心市街地への集客に貢献した。 児童生徒を対象とした博物館教室等を開催し、郷土の歴史、文化、民俗などの学習機会を提供し、市民の学習ニーズに答えた。			実 績 値	博物館入館者数 21,424人 博物館講座等の受講者数 913人
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
16,172,000	15,783,469	0	0	5,533,834	10,249,635	

10款	教育費	05項	社会教育費	04目	図書館博物館費	
事業名					遠野物語研究所運営事業費	単位：円
事業内容	『遠野物語』を中心とした当市の民俗文化、歴史等の調査、研究及び学習に関する事業の振興を図る。			計 画 値	「遠野物語ゼミナール」「遠野物語教室」「遠野学会」等主催事業及び調査記録出版事業に対する支援 補助金2,000,000円	
	成果	遠野常民大学を母体として平成7年から『遠野物語』を中心とする遠野地方の民俗文化の調査・研究と情報発信を目的として「遠野物語研究所」が設立以降、「遠野物語ゼミナール」「遠野学会」「遠野物語教室」「昔話教室」等の事業を実施し、『研究紀要』『遠野物語ゼミナール講義集』『注釈遠野物語拾遺』等を成果として出版。平成14年には法人化し平成25年度まで活動を継続し、『遠野物語』研究の深化、語り部の育成、普及啓発に大きく寄与してきた。 会員の高齢化等により解散することになり、支援事業としては完了となった。今後は、遠野文化研究センターで主要事業を引き継ぎ、人材育成を視野に発展的継続を図っていく。			実 績 値	遠野物語ゼミナール 延べ22回開催、3,019人 遠野学会 延べ18回開催、1,140人 遠野物語教室 延べ19回開催、4,883人 『研究紀要』等27種の書籍出版
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
2,000,000	2,000,000	0	0	0	2,000,000	

10 款	教育費	05 項	社会教育費	04 目	図書館費
事業名		ブックスタート事業費			単位：円
事業内容	1 歳児健康相談時に、赤ちゃんと保護者を対象に温かい子育ての時間をもつきっかけをつくるため、「ボランティアグループわらべ」による絵本の読み聞かせと、絵本とバックを配布する。			計画値	読み聞かせ回数 12回
					対象者 200組
成果	昨年度に引き続き、1 歳児健康相談時に実施した。相談時に参加できなかった対象者には、後日、民生児童委員を通じて配布した。			実績値	読み聞かせ 5回
	配布者 170組（年度対象者 180組） ・1 歳児健康相談時配布 91組 ・民生児童委員による配布 79組 ・配布率 94.4%				配布者 170組 （年度対象者 180組）
予算額		決算額		財源内訳	
				国県支出金	地方債
400,000		400,000		0	0
				その他	一般財源
				300,000	100,000

10 款	教育費	05 項	社会教育費	05 目	文化財調査保護費
事業名		文化財調査保護費			単位：円
事業内容	市内文化財調査により文化財の市指定を推進し、郷土の文化財保護と周知継承に努め、市民の郷土理解と郷土愛の醸成を図る。 郷土芸能の保存継承を目的として映像記録を行うと共に、保存団体の活動を支援するため、必要な用具等の整備に対して補助する。			計画値	文化財保護審議会 2回
					民俗芸能映像記録 1件 郷土芸能補助 5件 指定文化財説明板設置件数累計 64基
成果	指定文化財天然記念物について滅失により一部指定解除(日枝神社のアカマツ)、指定解除(砥森神社のアカマツ)を行った。市指定文化財早池峯神社黒門萱葺屋根葺き替え修理に対し1,075,000円を補助した。国登録文化財「川前別家」の保護を目的としてキクイムシ駆除を行った。 また、重要文化財千葉家住宅周辺の一部と日枝神社のアカマツに松くい虫被害木が確認されたことから、樹幹注入、伐倒駆除を行い文化財保護のため予防対策を講じた。 郷土芸能の備品整備等に対して5団体(青笹しし踊り、長野獅子踊り、塚沢早池峰神楽、鱒沢神楽、平倉神楽)に補助すると共に、映像記録を実施。郷土芸能発表会(郷土芸能共演会、神楽共演会)への支援を行った。			実績値	文化財保護審議会 2回
					民俗芸能映像記録 1件 郷土芸能補助 5件 指定文化財説明板設置件数累計 91基  松くい虫対策 伐倒駆除処理材積 42.61m <sup>3</sup> 樹幹注入 14本
予算額		決算額		財源内訳	
				国県支出金	地方債
7,497,000		6,214,013		499,653	0
				その他	一般財源
				17,894	5,696,466

10款	教育費	05項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					埋蔵文化財発掘調査費	単位：円
事業内容	緊急開発に伴う発掘調査、埋蔵文化財分布調査や試掘調査を実施し、その調査記録整理作業を行う。整理終了後、調査報告書を作成し、文化財の記録保存を図る。 また、埋蔵文化財に関する普及啓発事業を実施し、文化の向上に資する。			計画値	栃内野崎遺跡発掘調査室内整理及び報告書 300部 各種開発行為に伴う埋蔵文化財の調査 文化財教室の開催	
	成果	平成24年度に個人住宅建築に伴い実施した栃内野崎遺跡調査に関する室内整理を完了し、発掘調査報告書としてまとめ、遺跡の記録保存を図って新規発見された歴史資料を整備した。 各種開発行為に伴う埋蔵文化財の取り扱いについて調整し、円滑な事業の実施と埋蔵文化財保護の両立に努めた。 文化財教室を開催し、埋蔵文化財に関する普及啓発に努めた。			実績値	室内整理完了発掘調査報告書 300部 遺跡照会回答 154件 試掘調査 11カ所 文化財教室開催 2回 (参加者43人)
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
12,535,000	12,328,301	4,485,000	0	0	7,843,301	

10款	教育費	05項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					遠野遺産認定事業費	単位：円
事業内容	市民から推薦される地域資源を「遠野遺産」として認定し、地元住民による遺産の保存、環境整備等の活動を支援して市民協働で次世代に守り伝え、活気ある地域づくりを推進する。 活動の支援は、市民協働課との連携により、活動に対する補助金の適用、活動に対する助言等を行う。			計画値	認定件数 公募数 表示板設置 6基 標柱等設置 11基 竿頭綬作成 24枚 ガイドブック 3,500部	
	成果	新規遺産11件(柏木平の砥森神社、鱒沢四社・白石神社、鱒沢四社・愛宕神社、鱒沢四社・お水神様、八幡神楽、野崎神楽、平倉神楽、舌出し岩、土淵和野の愛宕様、森ノ下の伊勢両宮神社、鱒沢四社・高館八幡神社とエドヒガンザクラ)を認定し、累計数が135件となった。 遠野遺産表示板等の設置、郷土芸能用の竿頭綬作成、ガイドブック作成、広報遠野を通じた周知・情報発信に努め、遺産保護活動が促進された。 また、みんなで築くふさと遠野推進事業を活用した環境整備事業等(鍋倉公園、綾織三社神社、伊勢両宮神社、上鱒沢猿ヶ石川沿いの桜並木、一日市のお雛見、欠ノ上稻荷神社、綾織駒形神社、小友裸参り、諏訪神社、清心尼公碑)が実施され、市民協働の地域づくりが推進された。			実績値	認定件数 11件 表示板設置 6基 標柱等設置 11基 竿頭綬作成 15枚 ガイドブック 3,500部
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,197,000	2,918,646	0	0	2,500,000	418,646	

10款	教育費	05項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					文化的景観保存事業費	単位：円
事業内容	柳田國男の『遠野物語』を生み、人々が築き上げてきた当市独特の景観を将来に残していくため、国選定重要文化的景観「遠野 荒川高原牧場 土淵山口集落」の保護及び活用を図る。			計	「遠野の景観」保存調査委員会 2回	山口集落民俗調査 1件
				画	パンフレット作成 5,000部	
成果	1 文化的景観の保護 (1) 「遠野の景観」保存調査委員会で、選定地の問題対処について協議した。 (2) これまでの調査成果を生かしパンフレットを作成。地元土淵町及び市内観光施設等に配布し、景観保護の啓発と国選定地域の周知を図った。 (3) 岩手大学と住民の連携により景観点検を実施し問題点を洗い出した。			実績	「遠野の景観」保存調査委員会 1回	山口集落民俗調査 1件
	2 文化的景観の活用 (1) 土淵山口集落の食文化調査を実施し、水車小屋等の食に関する景観要素の活用へ向けた準備を進めた。 (2) 住民が先進地視察することにより、土淵山口集落の景観を生かした地域づくりの手法を研修することができた。			価値	パンフレット作成 5,000部	山口集落景観点検 2回
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳		
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他
845,000		713,957		0	0	0
						一 般 財 源
						713,957

10款	教育費	05項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					千葉家重要文化財指定整備活用事業費	単位：円
事業内容	遠野市を代表する貴重な文化遺産である国指定重要文化財「千葉家住宅」公有化後の保護と安全管理に必要な応急的修理、環境整備を行うと共に、適切な維持管理体制を構築して根本修理事業開始までの間、暫定的公開活用を図る。 また、修復事業の導入及び管理活用体制整備に向けた関係者協議を実施し次年度以降の計画に反映させる。			計	入場者数(7～3月) 16,660人	受付管理業務委託 9カ月
				画	八セ小屋応急工事 1件	
成果	1 公有化後の管理 受付管理業務委託により、適切な通年公開及び日常管理を行うことができた。老朽箇所の修繕工事を実施することにより、文化財を保護するとともに見学者の安全を確保することができた。			実績	入場者数(7～3月) 13,016人	受付管理業務委託 9カ月
	2 大規模修理事業へ向けた準備 文化庁等との協議を進め、平成26年度から国庫補助による防災道路設置事業を導入する準備を整えた。 また、地元関係者や専門家との協議により、平成26年度から保存活用基本構想を策定する体制を整えた。			価値	八セ小屋応急工事 1件	園路等修繕工事 1件
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳		
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他
17,327,000		14,749,373		0	0	4,102,767
						一 般 財 源
						10,646,606

10款	教育費	05項	社会教育費	05目	文化財調査保護費	
事業名					千葉家重要文化財指定整備活用事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	遠野市を代表する貴重な文化遺産である、国指定重要文化財千葉家住宅を公有化し、その保護を確実なものとする。公有化手続きに時間を要したため、繰越事業とした。			計画値	【公有化物件】 指定土地 11,763m <sup>2</sup> 指定建物 7棟 未指定土地 231,767.66m <sup>2</sup> 未指定建物 5棟	
	成果	国指定重要文化財「千葉家住宅」を確実に保護していくため、指定土地11,763m <sup>2</sup> 及び建物7棟と、周辺景観保護のため未指定の土地231,767.66m <sup>2</sup> 及び建物5棟を一括して公有化した。 なお、財源として公共施設等整備基金から110,000,000円を繰り入れた。			実績値	【公有化物件】 指定土地 11,763m <sup>2</sup> 指定建物 7棟 未指定土地 231,767.66m <sup>2</sup> 未指定建物 5棟
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
129,645,000	129,644,312	10,742,000	0	110,000,000	8,902,312	

10款	教育費	06項	保健体育費	01目	保健体育総務費	
事業名					競技・イベントスポーツプログラム推進事業費	単位：円
事業内容	遠野じんぎすかんマラソン等のイベントスポーツへの参加を推進する。「するスポーツ」=競技参加、「みるスポーツ」=応援参加、「ささえるスポーツ」=ボランティア参加と様々な形での参加、スポーツへの関わりを推進する。			計画値	遠野じんぎすかんマラソン参加者 1,400人 スポーツ団体運営補助 2団体	
	成果	遠野じんぎすかんマラソンを8月25日に開催し、運動することの基本となる走ることの推進ができた。沿道での応援があり、走るだけでなく、「みる・応援する」ことでのスポーツ参加ができた。 また、遠野市体育協会及び遠野市スポーツ少年団本部へ運営補助し、競技スポーツ・少年スポーツの推進、技術向上に努めた。			実績値	遠野じんぎすかんマラソン参加者 1,397人 スポーツ団体運営補助 2団体 岩手県体育大会出場 17種目 236人 スキー競技 6人 スポーツ少年団全国大会出場 6単位団
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
11,179,000	10,628,239	0	0	0	10,628,239	

10款	教育費	06項	保健体育費	01目	保健体育総務費	
事業名					岩手国体準備事業費	単位：円
事業内容	1 国体を円滑に開催するための先催県視察、及び「希望郷いわて国体遠野市実行委員会」の設立のため、実行委員会を補助する。			計 画 値	実行委員会の設立 ジュニアレベルアップ事業 団体 1団体	
	2 希望郷いわて国体では少年サッカー競技の開催地であり、ジュニア・ユース年代等で最も競技人口の多いサッカー競技の競技力向上を図るために補助する。					
成果	1 平成25年12月4日「希望郷いわて国体遠野市実行委員会」を設立した。実行委員会では、ミニのぼり旗、缶バッジを作製したり、国体ダンスをPRし、機運醸成を図った。 また、実行委員会とともに先催県視察を行い、会場整備や運営等を研修した。			実 績 値	国体開催PR品作製（横断幕） 実行委員会設立及び実行委員会開催（設立総会）1回	
	2 ジュニアレベルアップ事業としてNPO団体へ補助し、市内サッカー少年団、中・高サッカー部の競技力向上に努めた。 (1) 中学校...全国中学校サッカー大会 ベスト8 (2) 高校 ...岩手県高等学校総合体育大会 優勝 全国高校サッカー選手権岩手県大会 優勝				ジュニアレベルアップ事業 団体 1団体	
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
2,176,000	1,972,171	0	0	0	1,972,171	

10款	教育費	06項	保健体育費	02目	学校給食費		
事業名					学校給食事業費	単位：円	
事業内容	学校教育における給食は、成長期にある児童・生徒に栄養バランスのとれた食事を提供し、健康増進を図るとともに、望ましい食習慣の養成、好ましい人間形成等の目標を達成するため、衛生管理を徹底し、安全安心でおいしい給食の提供に努める。			計 画 値	米飯回数 小学校 130回 中学校 129回		
	1 年間の給食実施数 小学校170回、中学校168回 2 給食供給人数 2,359人				パン回数 小学校 40回 中学校 39回		
成果	平成25年4月3日に遠野市総合食育センターが開所し、8日から学校給食の提供を開始した。新しい調理設備の整備により、これまで提供に制限のあったサラダや和え物、果物などの多彩なメニューを提供することができた。 また、アレルギー専用設備と人的設置により、食物アレルギーを持つ児童生徒に、代替食を提供するなどの対応ができた。 食材にあつては、遠野産の食材を積極的に使用し、地産地消を推進するとともに、安全安心でおいしい給食の提供ができた。			実 績 値	米飯回数 小学校 130回 中学校 129回		
					パン回数 小学校 40回 中学校 39回		
予算額		決算額		財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
208,289,000		207,388,375		0	0	108,239,874	99,148,501



10款	教育費	06項	保健体育費	02目	学校給食費
事業名		ふるさと食材給食事業費			単位：円
事業内容	学校給食に遠野産の農産物を積極的に使用し、安全安心な給食の提供と学校給食の地産地消率の向上を図るとともに、郷土食や地域に関わる給食メニューを提供することで、郷土の食文化や農畜産業への理解を深める「遠野まるごと給食」を実施する。			計画値	遠野まるごと給食 年3回
	季節感のある地域の食材を利用した「遠野まるごと給食」の実施により、地産地消の推進につながった。 また、郷土食や食育推進団体の提供するとともに、食材生産農家や給食メニューの提案者を給食に招待し、農業や郷土食についての学習を通じ、児童・生徒が郷土食や農畜産業への理解を深めることができた。			実績値	遠野まるごと給食実施 年3回
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,800,000	1,799,521	0	0	0	1,799,521

10款	教育費	06項	保健体育費	03目	体育施設費
事業名		岩手国体サッカー会場整備事業費			単位：円
事業内容	「2016希望郷いわて国体」においてサッカー少年男子競技の競技会場となる、国体記念公園市民サッカー場A面、遠野運動公園多目的運動広場及び遠野運動公園陸上競技場を整備する。 1 国体記念公園市民サッカー場（A面）... 改修設計業務、改修工事 2 遠野運動公園 （1）散水設備設計業務 （2）多目的運動広場 ... 改修設計業務、改修工事、散水設備設置工事 （3）陸上競技場 ... 改修設計業務			計画値	設計業務 4件 工事 3件
	設計業務は完了した。工事については、工事内容や工法の決定に時間を要したとともに、冬季間の芝の整備工事は芝の生育に問題があるため工期を延長し、平成26年度に繰り越した。 1 国体記念公園市民サッカー場（A面）... 改修設計業務【完了】、改修工事【繰越】 2 遠野運動公園 （1）散水設備設計業務【完了】 （2）多目的運動広場 ... 改修設計業務【完了】、改修工事【繰越】、散水設備設置工事【繰越】 （3）陸上競技場 ... 改修設計業務【完了】			実績値	設計業務 4件
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
563,378,000	219,824,000	24,077,000	195,700,000	0	47,000

10 款	教育費	06 項	保健体育費	03 目	体育施設費
事業名		体育施設管理費			単位：円
事業内容	1 体育施設指定管理料及び光熱水費等の管理 安全安心な施設利用と適切な維持管理を進める。 (1) 指定管理委託 (2) 市民プール代替利用業務委託 (3) 体育施設関連備品購入及び各種修繕			計画値	1 体育施設指定管理 1 件
	2 平成26年度開催のマレットゴルフ大会に向けた整備等 コース整備工事及び消耗品の購入				2 市民プール代替利用 業務委託 1 件 (25年4月～26年2月、 バス運行累計34台)
成果	1 体育施設指定管理料及び光熱水費等の管理 (1) 指定管理委託 (株)遠野施設管理サービス 76,585,025円 (2) 市民プール代替利用業務委託 1,211,100円 (3) 体育施設関連備品購入及び各種修繕 ア 備品購入 7,233,565円 (14品) イ 体育施設修繕 4,980,523円 (25件)			実績値	1 体育施設指定管理 1 件
	2 平成26年度開催のマレットゴルフ大会に向けた整備等 (1) マレットゴルフコース整備工事 997,500円 (2) マレットゴルフ用消耗品等 1,656,480円				2 市民プール代替利用 業務委託 1 件 (25年4月～26年2月、 バス運行累計28台)
予算額		決算額		財源内訳	
				国県支出金	地方債
98,489,000		97,468,559		0	0
				その他	一般財源
				4,249,474	93,219,085

10 款	教育費	06 項	保健体育費	03 目	体育施設費
事業名		体育施設管理費（繰越明許費）			単位：円
事業内容	東日本大震災後方支援活動により市内体育施設の一般利用ができない中、 利用が集中し損傷を受けた遠野市民サッカー場B面の改修が必要となった。 平成24年度中に工期が不足したため、工期を延長し事業費を繰り越した。 復旧にあたって運動公園多目的運動広場の表層材であるチャンピオンサン ドをB面に転用し活用する。			計画値	改修工事 1 件
	改修工事が完了し、6月から施設の利用を再開した。  遠野市民サッカー場B面改修工事 舗装工（下層路盤工、表層工、表面処理工） 排水構造物 その他附帯工				改修工事 1 件
成果				実績値	
予算額		決算額		財源内訳	
				国県支出金	地方債
23,683,000		23,414,250			
				その他	一般財源
					23,414,250

10款 教育費		06項 保健体育費		04目 食育推進費	
事業名 食べものが育てる元気な遠野っ子事業費					単位：円
事業内容	子どもたちが、生涯にわたって明るく充実した生活を送るため、「食」が基本であることの認識に立ち、市内の児童生徒を対象に、子どもたちの発達段階に応じた食育事業を推進する。			計画値	1 ちびっこ栄養教室 児童館：20回、250人
	1 小学校の児童とその家族対象の「ちびっこ栄養教室」 2 中学校の生徒とその家族対象の「中学生食生活応援教室」 3 高校生とその家族対象の「高校生健康生活定着事業」				2 中学生食生活応援教室 4回、40人 3 高校生健康生活定着事業 講演会 1回、260人 食改善講習会 2回、50人
成果	1 小学生を対象に、ちびっこ栄養教室、親子対象食育講座、食育農場関連事業を実施した。子ども達の体験を通して、家族内の会話が增え、家庭の食改善や健康意識の向上につなげる機会となった。			実績値	1 ちびっこ栄養教室 児童館 16回、209人 親子 4回、74人 食育農場 2回、414人
	2 中学生を対象に、郷土料理講習会を行った。「遠野の雛まんじゅう」をテーマに、郷土料理を学ぶ最後のチャンスとなる中学3年生を対象に行った。雛まんじゅう作りを通して、手作りの楽しさや地域の食文化体験の機会をつくった。 3 遠野高校全校生徒を対象にした健康づくり講演会と、市内2校の貧血または貧血予備軍の生徒を対象に食生活改善講習会を実施した。調理実習の試食の際に、自分に必要な食事量と普通の食事量の違いや、健康的な食生活についての学習の場を提供できた。				2 中学生食生活応援教室 4回、143人 3 高校生健康生活定着事業 講演会 1回、270人 食改善講習会 2回、50人
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
807,000	577,742	0	0	0	577,742

10款 教育費		06項 保健体育費		04目 食育推進費	
事業名 総合食育センター整備事業費					単位：円
事業内容	平成24年度に引き続き、遠野学校給食センター施設及び宮守学校給食センター施設の老朽化と、今後の少子化に伴う給食提供数の減少が見込まれることから、統合による効率的で効果的な施設の整備を行う。 遠野市総合食育センター整備市民懇談会の意見をもとに策定した基本計画に基づき、平成25年11月の全面供用開始に向け建設工事を実施する。			計画値	・遠野学校給食センター解体工事 ・学校給食配送車庫改築工事 ・総合食育センター建築工事 ・防風塀設置(第2期工事) ・外構工事
	・防風塀設置(第2期工事) ・遠野学校給食センター解体工事 ・学校給食配送車庫改築工事 ・総合食育センター建築工事 ・外構工事				・遠野学校給食センター解体工事 ・学校給食配送車庫改築工事 ・総合食育センター建築工事 ・防風塀設置(第2期工事)
成果	総合食育センター建築工事、遠野学校給食センター解体工事、給食配送車庫改築工事等全工事が完了し、平成25年11月から施設の全面供用を開始した。			実績値	・遠野学校給食センター解体工事 ・学校給食配送車庫改築工事 ・総合食育センター建築工事 ・防風塀設置(第2期工事)
	11月4日にグランドオープン式典を開催し、高齢者への宅配弁当の提供を開始した。				・遠野学校給食センター解体工事 ・学校給食配送車庫改築工事 ・総合食育センター建築工事 ・防風塀設置(第2期工事)
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
110,951,000	110,938,005	105,255,000	0	0	5,683,005

10款	教育費	06項	保健体育費	04目	食育推進費	
事業名					総合食育センター整備記念事業費	単位：円
事業内容	25年11月から全面供用開始となる総合食育センターの完成を祝い、グランドオープンと祝賀会を実施するとともに、市の食育活動を広く市民にPRするための食育イベントを実施する。			計	オープニングセレモニー・食育の祭典参加者 350人 ラッピング給食配送車 5台	
	成果	グランドオープンとして、式典・食育の祭典の開催や、市内小中学校の児童・生徒が作成した楽しい給食の絵をラッピングした給食配送車の運行により、市民への施設への周知と食育への意識向上を図ることができた。食育の祭典では、市出身の栄養学者 岸田袈裟氏ゆかりの「かまど」を設置し、市民に、郷土料理体験や食生活の歴史を学ぶ機会を提供できた。また、新一年生を対象とした「学校給食体験・試食会（親子57人）」を行い、新しい学校生活への不安解消と楽しみづくりを支援することができた。			実績	オープニングセレモニー・食育の祭典参加者 350人 ラッピング給食配送車 5台
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
1,695,000	1,558,769	0	0	0	1,558,769	